

“ 年末年始 ” の 防火安全対策

その1 火災発生時の任務分担を明確にしておきましょう!!

最も条件が悪くなる夜間の火災発生時に適切な自衛消防活動が行えるよう、各従業員(アルバイト等も含む。)の消防活動における任務分担を再確認しておきましょう。

その2 避難経路を確実に確保しましょう!!

人の出入りが多くなるこの時季は、季節ものの装飾や物品の配置などで、避難経路や避難口がわかりにくくなる場合があります。避難口や階段、廊下、防火戸付近に物品を置かないよう注意し、避難経路をしっかりと確保しておきましょう。

その3 火気管理を徹底しましょう!!

繁忙期のあわただしさにより、火の元への注意が薄れ、火の取扱いがおろそかになりがちです。火を使ったあとの確認やタバコの吸殻の処理、火を使用する設備の管理などチェックを確実に行うとともに、巡回強化を図り、出火防止に努めましょう。

その4 放火対策を忘れずに!!

建物の死角となる場所で物品を保管する場合は、整理整頓し、施錠管理を行うなどして放火対策を講じておきましょう。

その5 日常点検を徹底しましょう!!

消防設備や防火・避難施設が、いざという時に有効に機能するよう日頃から点検をしましょう。また、目視や定期点検等で不良が認められたものについては早急に改修しておいてください。